



委員会宣言 ~~(案)~~

本日、私たち JR 東日本輸送サービス労働組合八王子地方本部三多摩支部は、吾妻橋会館において第4回定期委員会を開催した。“すべての仲間の「声」に基づく分会運動”で、「安全性再確立」「2024年度賃金のベースアップを実現するたたかい」をはじめとする諸課題に対し、「共感」と「共創」による輸送サービス労組の飛躍を満場一致で確認した。

JR 東日本の安全は危機的状況である。昨年、内房線上総湊～竹岡間で発生した感電死亡事故、そして、1月23日の東北新幹線大野～大宮間架線垂下に伴う復旧作業中の感電事故。三多摩支部管内でも昨年6月に高尾駅構内で軌陸車が脱線するなどありえない事故が多発している。システムに偏り「安全」「いのち」を軽視した経営体質に問題があると言わざるを得ない。2月5日、大雪による倒竹や猿橋駅で架線切断などが発生し、中央線特急列車が16時間も遅れる輸送混乱を招いたことは、予想出来た事であり人災である。原因と背後要因を掴みつつ、真の対策を打ち立てなければ「安全の確立」ができないことを、私たちはこの間の経験から学んできた。技術・技能を有するプロが必要である。この否定的現実を変えるために、輸送サービス労組運動を職場から展開し安全を確立しよう。この間三多摩支部で取り組んだ『異動に関する意識調査』の結果では、特に新たなジョブローテーション施策実施(2020.4.1)以降に乗務員から駅への希望しない異動者から、「異動によってこれまでの知識・経験が活かせない」という声が多く寄せられた。新たなジョブローテーション施策はプロを排除し、安全レベルの低下をもたらしていることは、この間のあり得ない事故・事象の増加が示している。安全を再確立し働きがいある職場をつくり出すために、働く者の人間性をも奪う新たなジョブローテーション施策は撤廃しなければならない！

あらゆる不当労働行為を絶対に許さない。「JR 東日本八王子駅パンフ配布処分事件」は、東京都労働委員会より「全部救済命令」が交付されたが会社は履行せず、現在中央労働委員会で調査が行われている。また「JR 東日本八王子支社組合員差別事件」は4回の調査が終了し、新たに立川運転区分会、立川車掌区分会の事象に対して追加申立を行った。管理者から利益誘導・パワハラ・人格をも否定する不当労働行為を受けた組合員は「このようなことが行われる根幹を正さなければいけない」と強い意志を持ち立ち上がった。私たちは、組織犯罪を根絶するためにたたかっていく。

2月10日、第4回定期中央委員会で2024年度賃金のベースアップを実現するたたかいの方針を決定した。労使で確認した「ベースアップは物価上昇分を考慮した生活維持向上分」を大前提に、私たちは「純ベア一律 3,000円+5%」のベースアップと、職場実態アンケートでの「多職種の経験や兼務による多能化」「経験や知識が向上していることから現在の所定昇給額では不十分」という声を踏まえ「所定昇給額 2,000～3,000円の増額」を求めていく。厚生労働省は「実質賃金は2年連続でマイナス」と発表し、物価高に賃金が追いついていないことを明らかにした。そして、岸田首相や経団連も「物価上昇に負けない賃金引き上げを目指すことが経団連・企業の社会的責務」という考え方を表明している。一方、会社からは昨年末「新賃金と夏季手当について」提案がされた。その意図は「賃金を抑制し手当で多く見せる」という誤魔化しである。賃金と手当では別物なのだ。業績の上方修正も発表され、支払い能力は十分にある。要求の根拠について交渉団に届けよう。ベースアップと労働条件の向上を JR 東日本グループで働くすべての仲間の力で実現させよう！

2022年3月の営業統括センター発足からわずか2年後の3月16日、立川・豊田・八王子統括センターと武蔵野運輸区が発足し、「融合と連携」の名のもと私たちの働く環境が更に変化していく。営業統括センター化の成果・課題を示すことなく、施策先行・準備不足では、安全で質の高いサービスを提供できるとは到底思えない。私たちは営業職場の「安全」と「利用者の求めるサービス」を死守するために『これからの駅を考える会議』を開催し、発生する問題とその解決に向けた具体策を議論してきた。解決に向けた具体的な運動を若者に示すことで、輸送サービス労組運動に「共感」してもらい、共に声を挙げる「共創」へと高めていこう！

三多摩支部は「集まって議論すること」に拘り、課題解決に向けた運動を全ての分会と共に創り出してきた。全組合員参加の職場集会を追求し、仲間との議論を積み重ね、組織強化・拡大を実現するために奮闘しよう！

以上、宣言する。

2024年3月2日
JR東日本輸送サービス労働組合
八王子地本三多摩支部
第4回定期委員会

3月2日、三多摩支部第4回定期委員会を開催！